

国語 現代の国語

科目	現代の国語	(必修)	授業時数	2	単位
			履修学年	1・2	学年

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
理解編	5	理解編	5	理解編	5
・言語としてのピクトグラム (本田弘之)		・ステレオタイプの落とし穴 (原沢伊都夫)		・黄色い花束(黒柳徹子)	
表現編	5	表現編	5	表現編	5
・理想の修学旅行をプレゼンする		・書き方の基本レッスン		・実用的な手紙文の書き方	
・合意形成のための話し合いを行う		・身近な製品の取扱説明書を作成する		・自校の生徒の生活実態を調査する	
		理解編	5		
		・人はなぜ仕事をするのか (内田樹)			

教材
教科書:「標準 現代の国語」 第一学習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」京都書房 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また、提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解しているとともに、活用できる技術を身に付けている。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする能力を身に付けている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を身に付けている。
	習得する (わかる)	実社会に必要な国語の知識や技能を理解している。	三領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)

単元別 評価規準

言語としてのピクトグラム(本田弘之)

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・言葉には認識や思考を支える働きがあることや文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解し、個別の情報と一般化された情報との関係についての理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析することができる。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめることができる。
	習得する (わかる)	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉えることを理解している。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。

理想の修学旅行をプレゼンする

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣い、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的や婉曲的な述べ方について理解使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し積極的にプレゼンテーションを行うことができる。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価することができる。
	習得する (わかる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。	・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。

合意形成のための話し合いを行う

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用することができる。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考え、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解している。 ・積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価することができる
	習得する (わかる)	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりすることができる。	・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。 ・積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価しようとしている。

ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、その知識を活用することができる。 ・正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、その知識を活用することができる。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、その知識を活用することができる。	・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめることができる。 ・本文を読んで自分の考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことについて実社会から題材を求めて発表することができる。
	習得する (わかる)	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えることができる。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・本文を読んで自分の考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことについて実社会から題材を求め発表しようとしている。

書き方の基本レッスン

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫することができる。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。	・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確でわかりやすい文を書くことができる。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身に付けることができる。
	習得する (わかる)	・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使おうとしている。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫しようとしている。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。	・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確でわかりやすい文を書こうとしている。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身に付けようとしている。

身近な製品の取扱説明書を作成する

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫することができる。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。	・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書くことができる。 ・書いた説明書を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫することができる。
	習得する (わかる)	・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使おうとしている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫しようとしている。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。	・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。 ・書いた説明書を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。

人はなぜ仕事をするのか（内田樹）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。 - 比喩、例示、言い換えなどについて理解を深め使うことができる。 - 主張と論拠など情報と情報との関係について理解し使うことができる。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。	- 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉え、その知識を活用することができる。 - 積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し話し言葉を挿入した効果について説明することができる。 - 本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明することができる。
	習得する (わかる)	- 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深めることができる。 - 比喩、例示、言い換えなどについて理解を深めることができる。 - 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味することを理解している。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈することができる。	- 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉え、その知識を活用しようとしている。 - 積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し話し言葉を挿入した効果について説明しようとしている。 - 本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。

黄色い花束（黒柳徹子）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係や推論の仕方について理解を深め、その知識を活用する技能を身に付けている。	「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに表現の仕方を工夫することができる。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに自分の考えを深めることができる。	- 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えることができる。 - 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解することができる。 - 戦争や紛争についての考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書くことができる。
	習得する (わかる)	文章の効果的な組立て方や接続の仕方、・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに表現の仕方を工夫しようとしている。 「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに自分の考えを深めようとしている。	- 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 - 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 - 戦争や紛争についての考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。

実用的な手紙文の書き方

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。 - 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、使用することができる。	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫することができる。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができる。	- 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書くことができる。 - 書いた手紙文を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫することができる。
	習得する (わかる)	- 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深めることができる。 - 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて文章の構成や展開を工夫しようとしている。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。	- 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 - 書いた手紙文を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。

自校の生徒の生活実態を調査する

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深め使うことができる。 - 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、使用することができる。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えることや、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおすことができる。	- 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書くことができる。 - 書いた報告文を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫することができる。
	習得する (わかる)	- 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ敬意と親しさなどに配慮した表現について理解を深めることができる。 - 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しようとしている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えることや、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおそうとしている。。	- 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 - 書いた報告文を進んで批評しあい、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。